

明治6年開校。令和5年度に創立150周年を迎える。明治37年「**正直 親切 勤勉**」の校訓が制定され、同39年に校庭に植樹された校木**プラタナス**の樹齢は100年を超え、同42年に制定された校歌が今なお歌い継がれている。昭和52年4月に岩沼西小学校、同54年4月に岩沼南小学校が分離・独立した。卒業生は、令和3年度で29,406名となる。



岩沼市立岩沼小学校

〒989-2432 岩沼市中央二丁目1番1号 ☎0223-22-2145 Fax0223-22-2146

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 特支 | 計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 学級 | 2 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 5 | 21 |
| 児童数 | 66 | 92 | 69 | 92 | 87 | 86 | 19 | 511 |



共に学び合う 心豊かで
心身共に健康な児童の育成



目指す子ども像

ふ
深く考え
工夫する子

た
なかよく
助け合う子

き
心と体を
きたえる子

校歌
とわにつきせぬ逢隈の
清き流れをかみとし
みどりかわらぬ二本松
おおいき姿仰ぎつつ
雪に嵐にふとい来て
教ををうくるわが子らよ
正直親切勤勉の
三つの美德をみがくづく
忘るなかれ 勉めよや
朝に夕に起きふりに

作詞 吉岡郷甫
作曲 木田勤七
明治三十二年五月十日制定



- <目指す学校像>
- 創意と活力のあるしなやかで(柔軟で)たくましい(創造的な)学校
 - 一人一人が大切にされる学校
 - 歴史と伝統を大切に、地域と共に歩む学校

- <目指す教職員像>
- 支え合い、学び合い、高め合う教職員
 - いつでも子どものそばにいる教職員
 - 資質向上に向けて努力する教職員

努力事項と具体的取組

1 信頼と共感による人間関係づくりの推進

岩沼市教育基本方針「たくましさやさしさを培う学校づくり」を推進し、調和とバランスのとれた教育課程の適切な編成と実施に取り組み、開かれた信頼される学校づくりに努め、学校教育目標の具現化を図る。

- ①自己肯定感・自己存在感の醸成 ②落ち着いた環境づくり
- ア 互いに認め、励まし合う学年・学級経営
 - イ 自然なあいさつと温かな言葉遣い
 - ウ 落ち着いた、きれいな環境づくり
 - エ 教師による「居場所づくり」と児童による「絆づくり」
 - オ 人権教育・福祉教育の推進

2 意欲が湧き、分かりやすい授業の充実

児童の実態を踏まえた指導方法等の工夫改善に取り組み、学ぶ意欲や主体性を引き出し、基礎・基本の確実な定着と自ら考える力を育てる学習指導の充実に努める。

- ③質の高い授業の追求 ④ICT教育「まなびi岩小スタイル」の充実
- ア 年間一人1回の授業公開
 - イ 基礎学力の定着と思考を深める授業の実践
 - ウ ノート指導の充実(書く活動の重視)
 - エ 深く考えさせるためのICTの効果的活用
 - オ 読書活動・図書室利用の促進



3 心身の健康と生活習慣づくりの指導の充実

児童理解を深め、道徳教育や特別活動、生徒指導等、学校教育活動全体を通して、心豊かで心身共に健康な生活ができる力を育成する指導の充実に努める。

- ⑤基本的な生活習慣の定着と体力づくり ⑥食育の推進
- ア 早寝早起き朝ごはんの推奨と生活リズムの確立
 - イ 家庭学習(本読み、算数復習、漢字練習、自主学習)「通称:4カテ」の習慣づくり
 - ウ 安全教育、防災教育の日常的な取組
 - エ 体づくりと外遊びの推奨
 - オ 食育による健康促進

校内研究主題

自分の考えをもち、共に学び合う児童の育成
～数学的な見方・考え方を働かせる授業づくりを通して～

学校運営に当たって

- ・ コロナ禍における柔軟な対応と創意工夫
- ・ 業務の効率化に向けたICTの活用
- ・ 報告、連絡、相談そして確認の徹底
- ・ 適切な情報発信と説明責任
- ・ 地域や家庭との連携
- ・ 特別な支援を要する児童への細やかな対応

